

“北條直彦 trio”

北條直彦 piano
横山裕 contrabass
岡田佳大 drums

2023 03月26日 (日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink 600 ~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



横山裕

1957年、千葉県市川市出身。高校時代よりモダンジャズに傾倒し、慶応義塾大学入学後、モダンジャズソサエティで本格的にベースを始める。ジャズと並行して、クラシックをNHK交響楽団のコントラバス奏者、瀬戸川道男氏に師事。卒業後プロ入り。鈴木勲(B)、田村翼(P)、小林洋(P) シャイニーストッキングス(85年~)、小野リサ(86~89年)、松本英彦(89年~)、沢田靖司(Vo,P)(93年~)、ジョージ大塚(Ds)(97年~)、丸山繁雄(Vo)のグループで主に活動。特に、ジョージ大塚氏から多大な影響を受ける。他に主に、スコットハミルトン(Ts)、デイブバイク(Vib)、トミーキャンベル(Ds)、エリオセルソ(P)、ジョアン・ドナート(P)、大徳俊幸(P)、ドリーベイカー(Vo)、ジミースミス(Ds)、前田憲男(P)、中牟礼貞則(G)、山口真文(Ts)、植松孝夫(Ts)、佐藤允彦(P)、小林桂(Vo)、大井貴司(Vib)、植松良高(Ds)、原田イサム(Ds)、西川喬昭(Ds)、福井ともみ(P)と演奏してきた。現在は、自己のセッション【市川秀男(P)、マークテイラー(Ds)】の他、吉岡秀晃(P)、大森明(As)、中村誠一(Ts)、ジョージ大塚(Ds)、渡辺明日香(Vo)、関根敏行(P)、北條直彦(P)、米田正義(P)との演奏を中心に様々なシーンで活躍している。

北條直彦

東京芸術大学卒業。作曲、ジャズ研究、ピアノ、現代音楽からジャズ迄、クロスオーバーな守備範囲を持つ。東京文化会館、草月会館、府中の森芸術劇場でオーケストラ曲、室内楽等が演奏されている。ジャズの研究書としてコンテンツポラリージャズピアノ(新主流は以降の現代ジャズ技法)第1巻、第2巻、第3巻、インプロビゼーションとアナリゼ。イントロとエンディングの技法(この二つは稲森康利との共著)、実践コード進行法I, II。ピアニストとして国際音楽の日フェスティバル、横浜ジャズブロード、横浜旭区ジャズフェスティバルでは名ヴィブラホーン奏者デイブ・バイク氏と共演。NHKスタジオ505、デジタル放送ミュージックバード他出演多数。CD『ワルツ フォー デビュー?オマーージュ トゥー ビルエヴァンス』『コンセプション』『インヴィテーション』等がリリースされている。国際ジャズ教育者協会日本支部常任理事等を歴任。現在、日本音楽舞踊会議理事、同公演局長。日本現代音楽協会会員。キーボードラボ主宰。

岡田佳大

1964年大阪生まれ。大阪音大在学中にアート・ブレイキーに誘われニューヨークに2年滞在し、様々なセッションに参加。帰国後日野皓正グループに参加。以降、向井滋春、今田勝など多数のグループでライブ、レコーディングに参加し、メロディアスで繊細かつダイナミックな演奏で知られる。嶋津健一トリオ、菊池康正グループなどで活躍する一方、コーラスグループサーカスのサポートを務めるなど、ジャズのみならず、Pop, Funk, Rockなど幅広く活躍。現在、NYと東京を行き来し、山中千尋トリオでも活躍中。また、自己アルバム制作にも力を入れ始め、2008年初のリーダー作「Bluesor/岡田佳大」をリリース。そして2011年4月「Above the Flowers」をリリース。